

(阿Qの東北ツアー) 七月下旬に福島盛岡・大戸・青森・弘前・秋田・山形本県西中

ハレンチ阿Q捕まる!

闇夜の不法看板貼り 反省の色なし

魅惑のダンスバンド「阿Q」が若者を非行に走らせるロック音楽のパンドであることは警視庁捜査二課もすでに内偵済みだったが、阿Qの神出鬼没な探偵活動に警察は地団駄の連続。しかし、やはり天は正義に味方するもので、十八日深夜、仙台駅前を巡回中の警察官が犯行中の「阿Q」を見つけたことで、事件はあっけない幕切れとなった。

若者に爆発的人気のエレキバンド「阿Q」が仙台市内で街灯や電柱にコンサート告知看板を不法に掲示していた事件で、宮城県警は捜査本部を設け事件の解決にあたっていたが、十八日の午前一時頃、



小野寺明敏 大坂 鉄雄

また、鈴木巡査は小野寺から少し離れて看板貼りをしていた男にも尋問したが、その男は声をかけたのが小野寺と勘違いし、「うるせいな、早く看板やっちまえよ」と言葉を吐き鈴木巡査の前で看板貼りに集中した。まるでドリフターズの基本的なコントのようだが、

あっぱれ阿Q

社説
ついに五月二五日である。この日をもって阿Qのレコオドが全国発売され(阿Qの歴史)はページをめくる。昨年

の一月に尽きるだろう。仙台のバンドでありながら初のステージが福島、二度目がイキナリ「音楽勸進帳」の

の正月からの十四ヶ月を振り返ると、やはり「アヴァンギャルド」

本人は黙秘を続けたもののタラコと一緒に捕まったことから、この男がエレキギターのダイテツこと本名・大坂鉄雄(23)であるが鈴木巡査は確信し、二人に派出所までの出頭を求めた。

仙台のわくわく情報
「仙台有名人の投票」の
夕刊を一位にする運動
展開中
これは2、3日夕刊有名人!

予選で落選。アリキンの連続ライブでは客が二階から宙吊りになり踊り狂い、メーデーでは赤旗が林立する中三万人の労働者を前に演奏と、今思えばその後の阿Qの歴史を象徴するスタートだった。

仙台駅前派出所に連行された二人は警察の執拗な尋問に「ワタシタチ、カンコウネ、ハタライテナイ」と同じセリフを繰り返すばかりで、取り調べにあたった山口巡査長も「阿部定よりクチが固い」と困惑気味。結局、二時間にも及ぶ事情聴取ののち、手製の看板約五〇枚を拘置することで小野寺と大坂は釈放された。それに対して善良な一般市民の間からは「阿Qを社会に放置するな」という抗議の声が警察に殺到したが、今回は証拠不十分で阿Qを捕り逃した。警察のより一層の奮起を期待したい。

阿Q朝大茶本堂主

▼五月十九、二十日、阿Qは初のキャンヘーンで盛岡青森を廻った。キャンペーンだから分刻みで放送局やレコード店など行くのだがそればかりじゃ身体に悪いということでも少しオフもした。▼盛岡ではNHKから街に戻るのに道を間違え、偶然、市街を見下ろす小高い丘の上にあるロシア正教の教会を知った。日暮れ時の薄暗い空にロシアらしい八端の十字架(木)を据えた丸屋根が浮びあがり、その真実のような静寂感に背筋が寒くなる。西歌のキリスト教とは趣きを異にする土真さに惹かれる。▼青森ではやはりNHKで、隣りが棟方志功記念館だった。棟方志功といえ、ファンキーな版画で世界的に親しまれた御人なのだが、彼の版画はやはり土着の躍動感がみなぎっていた。京都とかのノリとは対照的のJAZZYなドッドドッドなのである。ねぶた絵にしる津軽三味線にしる「やはり津軽は縄文だ」と阿Qは確信してしまつた。▼やはり、こうなると行ってみたいのが青森の戸来(へらい)の村落。ヘブライに近い独特の地名から、そして他とは異なる家紋や風習から「キリスト降臨の地」という奇説が伝わる。気になつて……

あれから一年、スッペッタハッペッタと世の非難と罵声を浴びつつ、全国発売である。御存知のように阿Qはキングのバンドのわりに「ノリが変」だから、しばらくはこのまま仙台で、よりダンサボウな展開をしたい。鈴木圭一郎や黛ジュンのようになるまでは東京には行けねえ、って具合だ。だから阿Qフリークの諸君も「なんか、阿Qが遠いところに行つてしまふみたいで……」なんてシヤイにならず、街で阿Qを発見したら尻込みせず今まで通り「アキウって今まで通り保温泉の秋保かと思いましたよ、ハハハハハ」と声をかけてほしいわけだ。

という温かい心の少年少女は通信会社に連絡を